

滋賀県立高等学校再編計画（案）説明会 意見概要
<長浜勤労者総合福祉センター>

- 日 時 平成24年(2012年)10月29日(月) 19:00~21:00
- 場 所 長浜勤労者総合福祉センター「臨湖」（保護者対象:参加者52名）
- 主な意見 ※ 同趣旨のご意見については集約して取りまとめました。

- 昨年の計画原案は、唐突な発表で断固反対・白紙撤回と考えていた。今回の計画案は、統合については同じ内容で残念だが、長浜市の検討委員会で議論され、今回の案となった背景がある。
- 統合はもう少し後の時期でも良いのではないかと。
- JRだけを公共交通機関と考えると不便であり、実際にJRを利用している人数は少ない。雪が多いので、保護者が送迎することも多い。地域性を考えてほしい。
- 長浜北高校の校舎は50年経っており、老朽化していることは理解できるが、なぜ長浜高校と長浜北高校が統合されるのか。
- 長浜高校は、交通の利便性が高いとは思わない。大東中学校、浅井中学校、長浜市内からは自転車で通学しており、長浜北高校の方が利便性が高い。
- 敷地が広く、周囲にも拡張の可能性がある土地を持つ長浜北高校のグラウンドに校舎を新築し、長浜高校と長浜北星高校はそのままにしてはどうか。
- 長浜高校は、当初6学級規模の施設であり、8学級だとグラウンドが狭いのではないかと。
- 新校は「文武両道」を重視するとあるが、現在の両校も文武両道を旨とし、多くの生徒が運動部で頑張っている。部活動の場所は工夫せよとのことだが、野球、サッカー、アメリカンフットボールなど比較的大きな場所が必要な種目も多くある。長浜北高校校地の北・東・南隣接地は田圃であり、そこに校舎や第二グラウンドを作っても良いのではないかと。長浜高校の周辺は民家で拡張が難しい。計画案にあるプランに合わせた校舎やグラウンドを考えると、長浜北高校に新校を設置したほうが良い。
- 新校は英語のモデル校とあるが、実際にはどのようなことをやるのか。
- 一時的な長浜北高校での3校の同居に対して、生徒の安全は確保されるのか。教職員は残るのか、校長や教頭はどうなるか、イメージしにくく不安である。
- 長浜北高校の耐震化はどうなるのか。保護者としては、大丈夫か不安。
- 県内の7割の学校で耐震化が終わっているとのことだが、全て終わるのはいつか。長浜北高校の耐震化はしないとのことだが、平成29年度まで4、5年ある。大地震が起こると言われているが大丈夫か。
- 現在の中学校2年生から長浜北高校で3校が同居することになるが、長浜北高校の学校設備はどうなるのか。新校の開校までに、いつから両校の定員を減らしていく計画なのか。
- 部活動は、グラウンドなどを3校が分け合って使うことになるが、思い切った活動はできるのか。代替地を借りるなど、具体的な話があれば教えてほしい。
- クラブ活動について、団体競技で大会出場が可能かが心配である。クラブの方向性を早めに出してほしい。
- 平成28、29年度は部活動で「長浜」「長浜北」「新校」の3つが出場することもあり得るのか。

- 現在の中学校2年生から、長浜高校と長浜北高校の学級数が減るのは、初めて聞いたこと。統合は28年度からだだが、学級数は26年度から始まっていることになる。平成28年度までは生徒数は増えるはず。虎姫高校の増加で対応できるのか。学力面のこともある。
- 伊吹高校は、生徒数が増加していった時に開設されたのだから、生徒数が減少した今、伊吹高校を長浜北高校に統合することを考えたかどうか。
- 福祉科の廃止は高齢化社会のニーズに逆行している。福祉系列は、どの程度の授業になるのか。介護福祉士の資格は取れるのか。
- 長浜北星高校は、3つの異なる学校が併設されるが、行事や体育館はどうなるのか。改築工事中に在校生がおり、定時制もある。工事はいつ行うのか。
- 新校をつくり、長浜北星高校の改築工事をし、長浜高校の高等養護学校は築7年だが潰して長浜北星高校に新しく建てるなど、非常にもったいない。
- 介護福祉士の受験資格は4年前に移行している。2年前の「あり方検討委員会」では福祉科を充実しなさいとあったのに、なぜ案が変わったのか。来年度の入学生から医療的ケアを実施すると出ているが、医療的ケアの1単位増は家族でもしている痰の吸引である。施設で介護職員が今までやっていたことを法的に整備するもの。
 これまで現場で3年の実務経験があれば受験資格が得られたが、3年後には現場の方も半年以上、450時間以上勉強しなければならなくなる。学科そのものをなくすのはどうなのか。昨年の計画原案では、高等養護学校と福祉科のある特色ある学校として統合するとある。
- 2年前に聖泉短期大学の介護福祉士科が廃止された。公立の介護福祉士養成学科は長浜高校だけで、他の4校は私立である。福祉科は何年も定員割れが続き、学科が維持できない状況ではない。
- 福祉科が福祉系列になると内容がトーンダウンする。魅力と活力に逆行している。
- 長浜高等養護学校が長浜北星高校に設置となるが、障害のある生徒が来ることでノーマライゼーション教育をするだけでなく、障害を持つ子のことを考えるべき。そのような子は環境の変化に弱い。友人が変わることも心配である。
- 長浜高等養護学校は、全国初の高校併設の試みである。通学の利便性についても、長浜北星高校の生徒が旧8号線の信号のない所を自転車で横切ることも見かけ、本当に安全なのか疑問である。
- 養護学校に関して、分教室はできたが、今後ニーズは益々増える。現在、長浜養護学校では宿泊訓練棟も教室になっている。一時的と聞くが今後どのようになるのか。
- 能登川高校は、教員が3交代で勤めるとは思わないが、どのような勤務体制となるのか。併修が可能となると生徒は色々な教員に教えてもらうことになるが、生徒の様子について教員同士の情報交換は可能か。
- 農業学科の再編で、県下に土木系が一切なくなる。
- 大規模校で切磋琢磨と言っているのに、なぜ農業学科が3学級になるのか。学校規模が小さくなり、男子が減ると部活動がやりにくくなる。将来農業高校の数を減らすと憶測せざるを得ない。
- 全県一区制になってから私立高校への進学は、10%程度だったのが20%近くになってきた。過去に私立の割合を30%まで増やすとの話も聞いた。
- 全県一区をどのように検討したのか。